



編集発行 三入東地区社会福祉協議会
 連絡先 会長 藤本 風明
 ☎ (082) 818-0678
 発行部数 2,000部

支え合い、安心・安全で
元氣な福祉のまちづくり

令和元年六月一日(土)新旧理事の参加を得て、総会を開催しました。

榎照義氏(桐陽台一丁目自治会会長)を議長に選出し、平成三十年事業報告と決算書及び監査報告に続き平成三十一・令和元年度事業計画案と予算案が承認されました。

平成三十一・令和元年度事業計画

当地区社協も昭和六十三年の結成から今年で三十二年を迎える。少子高齢化社会もより一層進み、当地域でも高齢化率は三十五パーセント近くまでになってきた。

団塊の世代の全てが後期高齢者に達する二〇二五年を一定の区切りとして、地域包括ケアシステムの確立への取り組みが行政機関でも民間組織でも、より強固に展望される中、本会の二十四年度からの「福祉のまちづくりプラン」は、実施時期を過ぎており、時代の変化に呼応できる第二次「プラン」の策定へ向けて、取り組みを開始する。

「災害時において地域や住民の支援が必要な人の情報の共有化」に努めることで、「支え合い、安心・安全で元氣な福祉のまちづくり」について、積極的に取り組む。

今年度も地区ボランティアバンク設置推進事業、近隣ミニネットワーク事業(安心ネット)、ふれあいいきいきサロン推進事業や援助活動を継続する。加えて介護予防・日常生活総合支援事業との整合化も図れるよう努める。

一 運営のための会議の開催

総会、理事会、監査会議、役員会議、お元氣クラブスタッフ会議など

二 調査活動

民生委員児童委員の理事を中心に、在宅ひとり暮らし、寝たきりの状態、昼間ひとり暮らし等の、見守り対象者の情報把握と調査を実施する

三 研修活動

①福祉施設等の視察研修の実施
 ②広島市社会福祉協議会・安佐北区社会福祉協議会が開催する研修会等へ積極的に参加する

四 広報活動

広報紙の発行は、カラー版とし年二回(八月初旬と一月下旬)とする
 安佐北区社会福祉協議会が発行する広報紙の配布に協力する

五 福祉活動

- ①ふれあいいきいきサロン「育児サークルふちとまと」への支援協力
- ②重点的支援者に対する年末訪問お見舞いの実施(近隣ミニネットワーク事業)
- ③ふれあいいきいきサロンの展開
お元氣クラブの開催(年四回)
自主的活動をサポート
- ④三世代交流会の実施
- ⑤三入公民館のオープンスペース「子育て広場みるく」への支援を行う

六 福祉活動推進体制の強化

- ①「支え合い、安心・安全で元氣な福祉のまちづくり」をめざし活動を展望する
福祉のまちづくりプラン策定委員会開催
- ②ボランティアバンク活動の推進
障害者通所施設「可部つちくれの家」との交流を図る



「アルミ缶の収集」を引き続き実施する
 ボランティア委員会の開催

- ③コミュニティセンター内の社協事務所にある「ふれあい広場」を多くの住民に開放して活用を図る

七 住民福祉活動援助等

- ①各種団体との連絡調整と必要な援助協力
- ②車いす借り入れ希望者に貸し出しを行う
- ③学区内の環境美化キャンペーンを行う
終了後に自主防災会主催の消火器使用体験実習を行う

八 地域福祉推進委員との活動調整

福祉のまちづくり推進委員会の開催
 その他の事業等
 地域外における福祉関係事業にも積極的に参加する

九

地域住民の福祉に関する問題については、その内容に応じ積極的に対応する
 会費は一世帯年間二百円とし、各自治会・町内会より助成して頂く

2019 (平成 31・令和元) 年度予算 [前年度対比]

平成 30 年度決算
収入の部

科 目	金額(円)
繰越金	101,269
会 費	306,800
助成金	357,530
負担金	192,000
寄付金	7,000
義援金	13,000
雑収入	23,677
合 計	1,001,276

平成 31 年度予算
収入の部

科 目	金額(円)	摘 要
繰越金	86,228	
会 費	302,400	・世帯数 1512 世帯×200 円(1 丁目自 530、2 丁目自 910、山田自 22、梢台町 21、山田町 29)
助成金	389,520	・地区社協運営費……………60,000 円 ・地区社協事業費……………109,520 円 ・福祉のまちづくり総合推進事業……………150,000 円 ・まちづくりプラン策定助成金……………40,000 円 ・地区社協拠点整備事業……………15,000 円 ・広報紙発行助成金……………15,000 円
負担金	230,000	・お元気クラブ参加費……………220,000 円 (50 人×500 円)+(50 人×2,000 円)+(80 人×1,000 円) ・まちづくり推進講座参加費……………25,000 円 (50 人×500 円)
寄付金	0	
義援金	0	
雑収入	21,852	・空き缶売却、共同募金事務費、預金利息等
合 計	1,030,000	

平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

支出の部

科 目	金額(円)
会 費	77,150
事務費	117,893
会議費	4,416
広報費	58,320
福祉事業費	619,269
雑 費	0
助成金	25,000
義援金	13,000
予備費	0
合 計	915,048

支出の部

科 目	金額(円)	摘 要
会 費	76,850	・区社協年会費 1537 世帯×50 円
事務費	105,000	・社協事務所維持費……………36,000 円 ・参加負担金……………20,000 円 ・団体負担金……………12,000 円 ・文房具など……………15,000 円 ・旅費交通費……………20,000 円 ・駐車料(三入公民館)……………2,000 円
会議費	45,000	・総会、理事会等……………5,000 円 ・まちづくりプラン策定経費等……………15,000 円
広報費	120,000	・広報紙「みいりひがし」発行……………120,000 円
福祉事業費	624,000	福祉のまちづくり総合推進事業……………450,000 円 ・近隣ミニネットワークづくり推進……………70,000 円 ・ふれあいいいきサロン設置推進……………320,000 円 ・地区ボランティアバンク活動推進……………60,000 円 福祉のまちづくり総合推進事業……………174,000 円 ・施設研修……………10,000 円 ・三世代交流会……………134,000 円 ・環境美化キャンペーン……………30,000 円
雑 費	0	
助成金	25,000	・育児サークル「ぶちとまと」……………10,000 円 ・オープンスペース「子育てひろばみるく」……………5,000 円 ・GOGO 桐桜会 桐陽台桜まつり協賛金……………10,000 円
義援金	0	
予備費	34,150	
合 計	1,030,000	

平成31・令和元年度三入東地区社会福祉協議会 役員・理事一覧

役員

役員名	氏名	所属団体等
会長	藤本 風明	活動経験者
副会長	寺島 芳則	山田自治会副会長
副会長	日高 則幸	活動経験者
副会長	竹本 敬子	民生委員児童委員代表
副会長	樋川 英彰	桐陽台亀友会会長
執行理事	若林 栄子	活動経験者
執行理事	磯部 陽一	活動経験者

理事

役職名	氏名	所属団体等
理事	榎 照義	学区自治会・町内会連絡協議会会長 一丁目自治会会長
理事	三島 和弘	梢台町内会会長・福祉委員
理事	沖居 晴雄	山田町内会副会長・福祉委員
理事	沖 政弘	一丁目自治会副会長
理事	武分 稔	一丁目自治会1組組長・福祉委員
理事	藤本 光則	一丁目自治会2組組長・福祉委員
理事	元安 康子	一丁目自治会3組組長・福祉委員
理事	榎尾 英樹	一丁目自治会4組組長・福祉委員
理事	佐々木良子	二丁目自治会副会長・(文化)
理事	富山 幸雄	二丁目自治会副会長・(防犯)
理事	中川 潤	二丁目自治会副会長・(庶務)
理事	福田 友子	二丁目自治会1組組長・副会長・推進委員
理事	保久 克己	二丁目自治会2組組長・副会長・推進委員
理事	大西 泰子	二丁目自治会3組組長・副会長・推進委員
理事	梶原 宗彦	二丁目自治会4組組長・副会長・推進委員
理事	柳光 末友	二丁目自治会5組組長・副会長・推進委員

役員名	氏名	所属団体等
執行理事	米山なぎさ	地域福祉推進委員
執行理事	佐々木 満	学区自主防災会連合会会長
執行理事	高原 訓昭	活動経験者
監事	小田 茂則	三入東地区防犯組合会長
監事	石崎 敏行	活動経験者
会計	吉田 正昭	活動経験者
事務局長	高原 敏満	活動経験者

役職名	氏名	所属団体等
理事	平田 明子	二丁目自治会6組組長・副会長・推進委員
理事	藤原 稔	民生委員児童委員
理事	今中 元	民生委員児童委員
理事	廣川 繁子	民生委員児童委員
理事	古本 憲市	民生委員児童委員
理事	飯塚 和子	民生委員児童委員(主任児童委員)
理事	市岡 敏生	三入東学区体育協会会長
理事	若林 新三	三入東学区青少年健全育成連絡協議会会長 二丁目自治会副会長
理事	藤井 和則	三入東学区子ども会育成会会長
理事	浜内 昭成	三入東小学校PTA会長
理事	森 春芳	三入東中学校PTA会長
理事	大地 福郎	はなみずき会長
理事	二宮 健一	活動経験者
理事	川口 克己	活動経験者
理事	湊 晃司	活動経験者
理事	力丸 良一	活動経験者



桐陽台の街並み

○町内会・自治会を大切にしましょう

町内会・自治会は地域で生活する私たちにとってお隣さんなどの大切なコミュニケーションを育ててくれます。又、コミュニケーションを奨励する機能もあります。

町内会・自治会の活動を大切にする事でお互いの挨拶などで地域の輪も広がります。社会福祉協議会の活動や広報も町内会・自治会を通じて発信させていただいております。

ひとり暮らしの高齢者や心身が病弱な方々が隣近所から孤立することがないことも含めて地域の皆さま、町内会・自治会を大切にしましょう。

○『ふれあい広場』の利用

地区社協の事務所『ふれあい広場』(コミュニティセンター内)がよく利用されています。いきいきサロンの「フレッシュ会」・「クローバー」・「すきっぷ」もこの『ふれあい広場』を拠点に活動しています。地域の団体などもよく利用されています。社協の事務所ですから社協の会議や行事を優先しています。ごみは利用された方で持ち帰ってください。



○車いすの貸し出し

けがや病気で一時的に車いすが必要になった時や、学校やグループで福祉体験学習を行う時などに無料で貸し出しています。ご利用ください。



○ちょっとボランティアのお願い

コミュニティセンターの玄関横でアルミ缶の回収・持ち込みを行っています。収益は、地域福祉事業に大切に活用させていただきます。ご協力をよろしくお願いいたします。



○2月17日いきいきサロン「三入公民館主管」のまちづくり推進講座を共催

下町屋にある「サービス付高齢者住宅やデイサービスセンター 絵手紙の家」から所長さんや指導員の方をお招きして、認知症にならないための予防のお話や具体的なトレーニングをしていただきました。



○2月23日障害者通所施設

「可部つちくれの家」との交流

三入南2丁目にあるこの施設との交流は、経営母体の社会福祉法人清流が設立され現在の施設が建設されて14年になりますが、その前のプレハブの建物時代から、毎年交流をさせてもらっています。まずは、自己紹介などの集いから始まり、作業班ごとに分かれて利用者の方々に教えてもらって作業を行います。そして、昼食のお弁当と一緒にいただきます。3時間ほどの交流ですが、私達も、つちくれの家の利用者も毎年楽しんでいます。



今年の8月20日より、毎週火曜日 9時30分より12時30分の間、社協の事務所に社協役員や民生委員児童委員で、輪番で詰めることにしました。ボランティア相談や車いすの貸し出し、お困りごとや、ご心配ごとなど、お気軽に来ていただいてご相談ください。即答は難しいかもしれませんが、お話し相手にはなれますよ。